



自由研究 自然エネルギーツアー



8月11、12日、20日～22日に鳥取県主催のもとセンターが依頼を受けていた事業「自由研究自然エネルギーツアーinとっとり」が行われました。全日ツアーは無事に終了しましたので報告させていただきます。子ども達は県内の次世代エネルギーパークに認定されている施設を見学し、自然エネルギーの体験や工作を行いました。エネルギーの大切さを学び、環境についての意識が向上したのではないかと感じています。



東部コース 水力発電と風力発電について研究しよう！

水力発電機ってかたつむりみたいな形だね!!

○鳥取放牧場発電所
子どもたちは、回っている風車の羽の影を飛び越えて遊び、風車の大きさを体感していました。



○袋川発電所
袋川発電所では、殿ダムから流れてくる(利水放流管)水をもとに、発電しています。



○水力発電工作
手作りの水車を完成させ、少しの水量でも発電することを学びました。

西部Aコース 木質バイオマスやペレット製造 太陽光発電について研究しよう！

○王子製紙

紙の製造に伴って排出される端材をエネルギーとして利用しています。



中部コース 太陽光発電や風力発電について研究しよう！

○(株)エナテクス

北栄高千穂太陽光発電所では、牧野所長より、太陽光発電についてクイズを交えた、わかりやすい説明を聞きました。



子どもたちは、雨天でも太陽光発電が行えることに驚いていました。

○北条砂丘発電所

北条砂丘の風車の前で、北栄町職員の方より風力発電について説明を聞きました。



○風力発電工作

完成した風力発電機を持ち、走ることで風を起し、風の力を感じていました。室外機の前で風車を回している子どもたちを見て、改めてエネルギーは身近に転がっているものだと感じさせられました。



西部Bコース 太陽光発電とバイオマス熱について研究しよう！

○ミヨシ産業メガソーラーパーク

子どもたちは5,256枚のメガソーラーの大きさに驚き、敷地内を走り回り大きさ、広さを体感していました。地面には木質チップが敷き詰められ、雑草対策でコンクリートで埋め固めるのとは違い、将来自然に戻ることで環境に優しいとのことでした。

とっても大きくて広いメガソーラー!!



○西部総合事務所

ペレットボイラーを見学しました。ペレットを使い冬には暖房として、夏には冷房としてエネルギーを使い分けて利用しているそうです。



○エコクッキング

西部Cコース バイオマス発電、太陽光発電について研究しよう

○(株)オロチ

会社が排出する端材などのゴミを使って熱や電気エネルギーを効率よく利用しています。無駄なくエネルギーを使っていることを子どもたちは実感していました。



○日南町石見東太陽光発電所

太陽光パネルの角度は35度と、雪が積もらないように設計されていました。豪雪地帯ならではの工夫でした。

○ソーラー行灯工作

行灯には子どもたちがそれぞれ考えたエコ俳句を書きこみました。個性的でエコのことがよくわかる俳句がたくさんできました。いくつか紹介します。「太陽はピカピカ光る丸い物」「エコ活動 ぴかちゅうみたいに発電だ」「発電気 さすが鳥取 いい町だ」



計5コース約140名の子どもたちに参加していただきました。アンケートでは、9割の方にまた来年も参加したいとの回答をいただきました。学生スタッフとして、子どもたちとツアーを楽しみましたが、ツアーの企画やエネルギー環境教室の指導の練習など、大変勉強にもなりました。今後もこの事業が発展して、多くの子どもたちに自然エネルギーの意義を体験しながら学んでもらいたいです。 鳥取環境大学 岡崎ゼミ 学生一同

